

愛知県(県域)

1 産地の概要

＜対象品目＞ シクラメン

＜産地の現状・課題＞

シクラメンは植物体全体が商品であることから防除の必要性が高く、農業による防除作業が生産者の大きな負担になっている。

シクラメンの重要害虫であるヤガ類やアザミウマ類は、薬剤抵抗性が発達し、防除が難しくなっている。

近年、ヤガ類やアザミウマ類の行動を制御する光に関する研究が進み、植物への定着を阻害する緑色及び赤色LED灯が商品化され、全国的に減農薬技術として普及が始まっている。

そこで、シクラメンにおいて光を利用したヤガ類及びアザミウマ類被害軽減効果の実証に加えフェロモン及び粘着トラップによる発生予察に基づいた減農薬技術を確立する。

2 検討体制

＜愛知県組織と関係機関の連携＞

- ・農業経営課(事務局)
- ・農業革新支援センター(事業のコーディネート、技術指導、栽培マニュアル及び産地戦略のとりまとめ)
- ・農業総合試験場園芸研究部(試験方法に関する助言)
- ・普及指導センター(農業者との調整、実証ほの運営管理、調査、技術指導、栽培マニュアル及び産地戦略の検討)
- ・農業者(実証ほの栽培管理、技術の検証)
- ・JAあいち経済連(情報提供)
- ・JA(農業者との調整、実証ほの運営援助、調査協力)



ヤガ類による被害



ヤガ類防除用緑色LED



防除マニュアル

3 グリーンな栽培体系

＜環境にやさしい栽培技術＞

取組項目	作業段階	新たに取り入れる技術
化学農薬の使用量低減	害虫管理	緑色及び赤色LED灯を活用した光による物理的防除
		フェロモン及び粘着トラップによる発生予察

＜省力化に資する技術＞

作業段階	新たに取り入れる技術
害虫管理	緑色及び赤色LED灯を活用した光による物理的防除
	フェロモン及び粘着トラップによる発生予察

4 活動内容及び得られた成果

＜活動内容＞

- ・緑色LED実証ほを5地域5か所、赤色LED実証ほを4地域4か所に設置した。
- ・光による被害軽減効果の確認とLEDの適正な設置方法を検討した。

＜実証結果＞

- ・緑色LED照射によるヤガ類及び赤色LED照射によるアザミウマ類の被害軽減効果を確認した。
- ・フェロモン及び粘着トラップによる発生予察により効果的かつ効率的な防除が行われた。
- ・緑色及び赤色LEDを活用した害虫防除マニュアルを作成した。

5 今後の展開

- ・生産者への認知度向上。
- ・経年調査による防除マニュアルの内容強化。
- ・普及拡大に向けた各種取り組み。